



令和3年度 一般会計当初予算における主要新規事業 ①

1. 高野町学びの交流拠点整備事業

担当課：教育委員会

高野町学びの交流拠点整備事業 629,088 千円 ふるさと応援寄附基金活用事業

老朽化が進む高野山小・中学校、こども園、公民館、給食センター等教育関連施設を集約複合化し、「学びの交流拠点」として整備します。昨年実施した公募型プロポーザルで、松井建設・安井建築設計グループが最優秀提案者となり、総事業費 4,697,000 千円で契約を締結しました。令和6年7月の完成を目指しています。

令和3年度は全体の調査、設計、造成、不用となるスケートリンクなどの施設の解体と、給食センターの新築工事を実施する予定です。

本事業は企業版ふるさと納税による支援を募集しています（令和3年度募集額 71,000 千円）



お問い合わせ先

高野町 企画公室

担当者名 倉垣内 弘晃

0736-56-2932(直通)



令和3年度 一般会計当初予算における主要新規事業 ②

2. 外国語活動・外国語教育充実事業

担当課：教育委員会

外国語活動・外国語教育充実事業 28,000千円 ふるさと応援寄附基金活用事業

《債務負担行為 51,000千円も含めた4年間の総事業費は 79,000千円》

小学校から中学校卒業時までの9年間で、すべての子どもたちが英語を話せる力を身につけることを目標に、令和3年度から4年間をかけて、高野町独自の英語カリキュラムを作成と、その指導にあたる人材の育成を行います。

事業の包括的な支援は、英語教育に関して様々な経験と知見を有する、英国の公的な国際文化交流機関 BRITISH COUNCIL(ブリティッシュカウンシル)に委託します。

本事業は企業版ふるさと納税による支援を募集しています(令和3年度募集額 27,000千円)

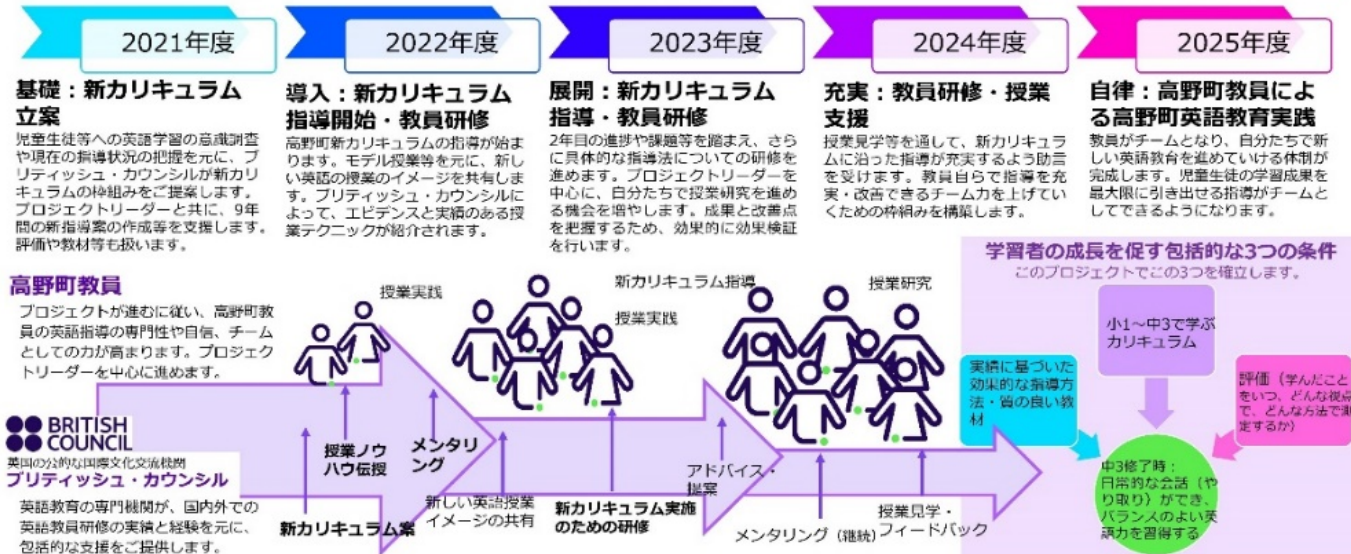


高野町9年間英語教育プロジェクト構想図

国際共通語である英語の力は、未来を生きる子どもたちにとって必要な資質の1つです。高野町のすべての子どもが、中学校卒業時に4技能バランスよく英語を使うことができる力を育てる9年間のカリキュラムを策定します。そして、到達目標に向けた効果的な指導ができるよう小中学校教員を支援します。



英語でできること(到達目標例)	
小3	簡単な自己紹介ができる
小6	自分や住んでいるところに対する簡単な質問に答えることができる
中3	外国からの訪問者と、(事前に準備をすることなく)即興でやり取り(話す)を続けることができる



お問い合わせ先

高野町 企画公室

担当者名 倉垣内 弘晃

0736-56-2932(直通)